

# World design Renaissance

私たちの住む日本は、戦後、生活水準を世界のレベルに追いつこうと懸命になって産業を復興し、工業生産における生産性を高め、その技術を高度化してきた。さらに文明が進展し、境目のない世界となり、以前の生活に比べれば日々物質的に豊かになっている現代。世界のリーダーの一翼を担うようになった日本。しかし一方で、そうした文明の進歩が、「人と人」、「人と物」、「物と物」とのひずみを生み、多くの困難な課題を生み出した。今まで、多くの人たちがその課題について、解決を試みているがなかなか進展しない。私たちが取り組んでいるデザイン選手権もそうでないだろうか？「明日の社会 明日の暮らしをデザインする」をテーマに10年間実施されているが、そこで提案されたものは、本当に明日につながるのだろうか。私たちは、昨年度、地球規模で発生している多くの課題の中で、アジアを取り上げ、少しでもその課題を現実的に解決するための方法を提案した。しかし、その多くの課題は解決できない。そこで私たちは、より多くの同じ年代の人々と世界で発生している課題を共用し、それを解決、実行するための世界デザイン選手権の開催を提案する。

## Industrial history of Japan

戦後～



終戦・産業の復興



工業の発展



境目のない世界



物が溢れる時代

～現在

## The development of the civilization



Strain: 「人vs人」「人vs物」「物vs物」

世界で多発する問題・・・> 人類は何を生み何を解決したのか？

明日の社会、明日の暮らしをデザインすることをテーマに身近な問題を発見し、解決方法を考え提案することだ！！

本当にそれで良いのか???

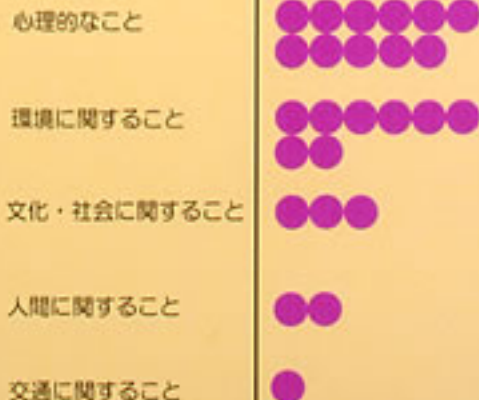
## The history of the design championship

1993

- 第1回大会
  - 1 『Furniture for Children (ひろみちゃん)』
  - 2 『みんながつどう橋をつくろう!』
  - 3 『ゴミ処理施設 CI』
- 第2回大会
  - 1 『ははつくり '95』
  - 2 『デフのCHANの休日 聴覚障害者の生活の改善について』
  - 3 『未来農業展』
- 第3回大会
  - 1 『振りの家は雷国〜和宮〜』
  - 2 『海の日大博覧』
  - 3 『字者・貝類文庫の家』
- 第4回大会
  - 1 『若き乙女の悩み』
  - 2 『オリハランピック』
  - 3 『DA! DA! DA!』
- 第5回大会
  - 1 『父娘 (おやこ) は一日にして成らず』
  - 2 『家らく便利な家はっち』
  - 3 『6時交際time』
- 第6回大会
  - 1 『地球という大きな部屋のインテリアデザイン(個性的な部屋)』
  - 2 『Kids Project』
  - 3 『New Summer time』
- 第7回大会
  - 1 『1月革命』
  - 2 『好奇心を〜顔を見たら笑えるから〜』
  - 3 『昔方はまだ記憶の全てを引かない』
- 第8回大会
  - 1 『リサイクル和服箱を作るう!』
  - 2 『ミックスシューズのような、サラダボールのような』
  - 3 『道中下車』
- 第9回大会
  - 1 『見えるものと、見えないもの 両いニュースは似てくつない』
  - 2 『わらしわく深沢 (わらし)』
  - 3 『テレビで読書、いいですよ!』
- 第10回大会
  - 1 『Also can be served in stuff』
  - 2 『カピラピカ』
  - 3 『くっくくみよう!』

2003

## 10年間の上位入賞提案の傾向



身近にある問題を発見し、それを解決する提案を考えた時!

身近の問題だけで良いのか、今まで提案したことは本当に問題を解決し、明日の暮らしにつながる提案だったのだろうか?と考えるようになった。

そこで、11年目を迎える今……

デザイン選手権を再興させ、地球全体で取り組む問題をテーマにした

World design championship を提案する

## 世界で多発している問題



ヨーロッパ：チェチェンの民族紛争や貧富の格差、ロシアの人口減少

アフリカ：飢餓やエイズ、少数民族の争い

中近東：石油などの資源が原因で争いが絶えない

アジア：SARSや鳥インフルエンザ、インドの人口爆発、環境汚染

北米・中南米：SARSや鳥インフルエンザ、インドの人口爆発、環境汚染

オーストラリア：オゾンホールが破壊が進み皮膚ガンになる人が増加

## 世界デザイン選手権のシステム

主催者：東北芸術工科大学

世界共通テーマで、同年代の学生たちによる企画提案

各国で抱えている問題をアンケートで調査し、毎年テーマを設定する（インターネットで調査を実施）

### 世界デザイン選手権



外国からの参加者は  
インターネットを活用

一次審査：提案内容をプレゼンボード  
にまとめ提出・・・審査

Japan ↓↓

↓↓ Foreign country

プレゼンテーション

net上で発表

二次審査：提案発表



上位3チームが国際大会へ参加

### 国際連合の中に・・・

国際コース連合 世界の同年代で構成する国際機関

事務局

ネット管理局

国際貢献局

資金管理局

### 世界デザイン選手権

事務局：東北芸術工科大学

世界デザイン選手権大会実行委員会

：国際コース連合

世界デザイン選手権大会実行委員会

協賛：国際連合事務局

世界デザイン選手権大会担当

国際コース対して、世界の同年代の就学者に年1\$の国際コース連合税を導入

同年代の人数は約10億人  
(15歳~22歳)  
就学者数を約3割として

1\$×3億人=3億ドル

↓ 分配

事務局  
ネット管理局  
国際貢献局  
資金管理局

世界デザイン選手権上位入賞の提案に対し、国際コース連合より1億ドルの融資を受け、国際連合を通して、提案されたものを具体化していく。



世界の多発する問題を同年代の目線で解決していく

### ◆まとめ◆

私たちが身近な問題を考えることはもとより、問題の視野を世界まで広げることで、世界の現状を知ることができるのではないのでしょうか。また、世界デザイン選手権を通じて、より多くの国々の人々に知ってもらうことで、お互いが協力し合い、多くの問題を具体的に解決する方法を見出すことができると思います。明日の社会、明日の暮らしをより良いものとするためには、世界中が抱えている問題を解決し、人々が幸せになる世界をつくることになるのです。